

誰もが自分らしく学び つながり合う社会へ

—特別支援教育を基盤に、インクルーシブな学びの環境へ—

それぞれのちがいが
学びと育ちを
豊かにしていく

熊本市では、すべてのこどもの個性や多様性を大切に、こども一人一人を尊重した教育を推進しています。地域や家庭との連携を図りながら、こども同士が共に学ぶ環境を育み、相互に尊重し支え合う共生社会の実現に向けて取り組んでいます。

すべての子どもが安心して学べるために、学校ではこんな工夫をしています

学校は、共に学ぶ環境づくりを進めています

環境や支援方法を工夫しながら、多様な子どもたちが共に学ぶことを大切にしています。だれもが安心して学び合える教室づくりは、すべてのこどもの学びを支える“基礎的環境整備”です。

通常の学級



交流及び 共同学習

だれもが安心して学べる環境づくり

安心・安全に過ごせる学級

- 一人一人のこどもを大切にします。
- 違いやよさを認め合い、互いを理解する関係を育みます。
- 協力しながら学び合う活動でつながりを深めます。

授業の工夫

- わかりやすい指示や絵・写真で見通しをもって学べます。
- 教育ICTや音声読み上げ機能などを活用し、多様な方法で考え、表現できます。
- 多様な考えや感じ方を大切にしながら、互いの学びが深まる授業づくりに取り組んでいます。

教室環境の工夫

- 座席や掲示物を整理し、集中しやすい空間をつくります。
- 音や光など感覚に配慮し、過ごしやすい環境を整えます。

通級指導教室

通常の学級に在籍しながら、週に1回程度、ことばや行動、学習などの課題に応じた特別な指導（自立活動等）を行う場です。個々の課題に合わせた支援を行い、通常の学級での学びをより充実させます。

必要な配慮をあたりに ~公正な学びを支える合理的配慮~



すべてのこどもが安心して参加し、学ぶことができるように、こどもや保護者と話し合いながら、丁寧に検討し、一人一人の違いに応じた「必要な調整や工夫（合理的配慮）」を提供しています。

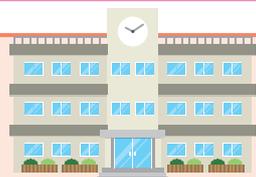
特別支援学級

特別支援学級は、教育的ニーズに応じた多様な学びの場の一つです。週の授業時数の半分以上を目安として特別支援学級で過ごし、個々の力を伸ばすための「特別の教育課程」に基づいて指導を行います。通常の学級との「交流及び共同学習」も大切にしています。



交流及び 共同学習

特別支援学校



特別支援学校は、障がいや特別な教育的ニーズに応じて、専門的な教育と生活支援を行う学校です。家庭や地域と連携しながら、個々の力を最大限に伸ばすための教育を進めます。居住地の小中学校との交流及び共同学習も大切にしています。

みんなで支える、誰一人取り残さない学び

特別支援教育コーディネーターを中心としたチームで支えます

- ・校内で話し合い、支援の方法を検討します。
- ・必要に応じて、専門家や関係機関と連携します。
- ・保護者と情報を共有し、安心して学べる環境を整えます。



管理職

校内委員会

養護教諭

子ども

近隣校との連携

学年会

担任
学年主任

学校での相談窓口

- ・教頭
- ・学級担任・学年主任
- ・特別支援教育コーディネーター
- ・特別支援学級担任
- ・通級指導教室担当（設置校のみ）
- ・養護教諭 等

巡回相談員等による助言・サポート

- ・市立・県立特別支援学校教諭等
- ・スクールカウンセラー
- ・スクールソーシャルワーカー

園や学校と保護者が協力して「個別の教育支援計画」や「移行支援シート」等を作成し、効果的な支援を就学先や進学先に引き継ぎ、安心をつなぎます



幼稚園
保育所
認定こども園

小学校

中学校

進学先
就職先

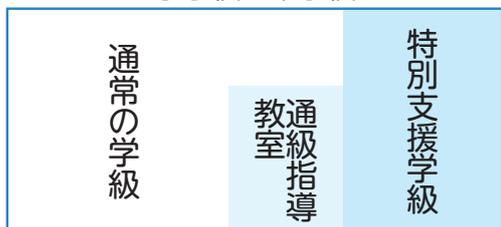
移行支援シート及び特別支援教育についてのQ&Aはこちらから閲覧できます。



多様な学びの場がつながり、互いを理解し合う

小学校・中学校

特別支援学校



教育的ニーズに応じて検討

子どものよりよい学びを考えていくために、校内支援体制のもとで、通常の学校での学びや環境を丁寧に検討します。その上で、教育的ニーズに応じて就学支援委員会で協議し、特別支援学級や特別支援学校の教育課程で学ぶことが適切かどうか判断していきます。

いずれの学びの場も、子どもの成長を支える大切な場としてつながっています。

家庭や地域のみなさんと共に

家庭

家庭は、こどもが自分らしくいていいと感じられる最初の社会です



できること・できないことよりも、「うまく言葉にできない気持ち」に耳を傾けましょう

こどもは、発達段階によっては、まだ言葉にしづらい気持ちや、思春期特有の不安や揺らぎを抱えることもあります。そんな日があっても、安心して戻れる場所があることが、こどもの大きな力になります。



- こどもの言葉や行動、表情には、「みてほしいな」「がんばってるよ」「どうしたらいいの」という気持ちが隠れていることがあります。言葉にならない小さなサインに、そっと目と心を向けてみましょう。
- 「できた」「楽しかった」という経験をいっしょに共有することが、こどもの自信の土台になります。



関わり合い あたたかく見守るまなざしがこどもたちの安心を支えます

地域



平成さくら支援学校の生徒による販売会
地域とともに歩み、地域に根ざして大切にされてきた活動です。



地域とともにある学びが、理解とつながりを広げていきます



こどもだけでなく、家庭の安心も支えます



相談機関一覧

教育相談、発達相談、福祉サービスなど、さまざまな相談窓口があります。

熊本市教育委員会 総合支援課 特別支援教育室
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号

☎ 096-328-2743
FAX 096-323-8355